

第1段階 事業地の選定

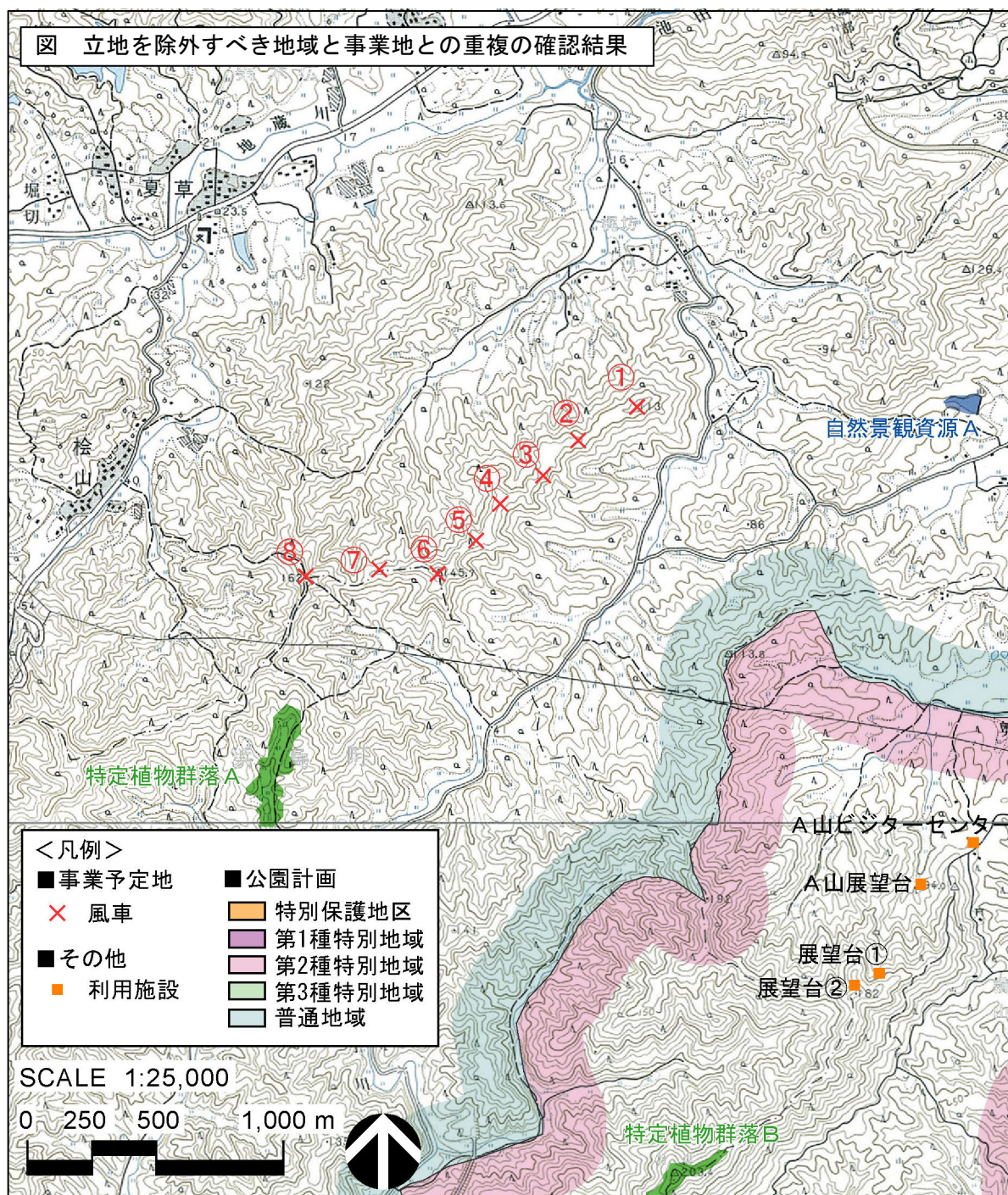
(1) 立地を除外すべき地域との重複の確認

作業解説

- ・事業地として、仮想国立公園内 A山集団施設地区の北側約2kmの地点を選定した。
- ・国立公園の公園計画図や特定植物群落等の分布と重ね合わせた結果、事業地は風力発電施設の立地を除外すべき地域を回避していることを確認した。

⇒確認結果について関係主体との合意形成を図った上で「第2段階：概略事業計画の立案」へ進む。

作業結果



第2段階 概略事業計画の立案

(1) 主要な展望地の抽出

作業解説

- ・「主要な展望地」として、公園計画書や管理計画書、その他の展望利用の状況から、以下の図表に示す公園利用施設を抽出した。

作業結果

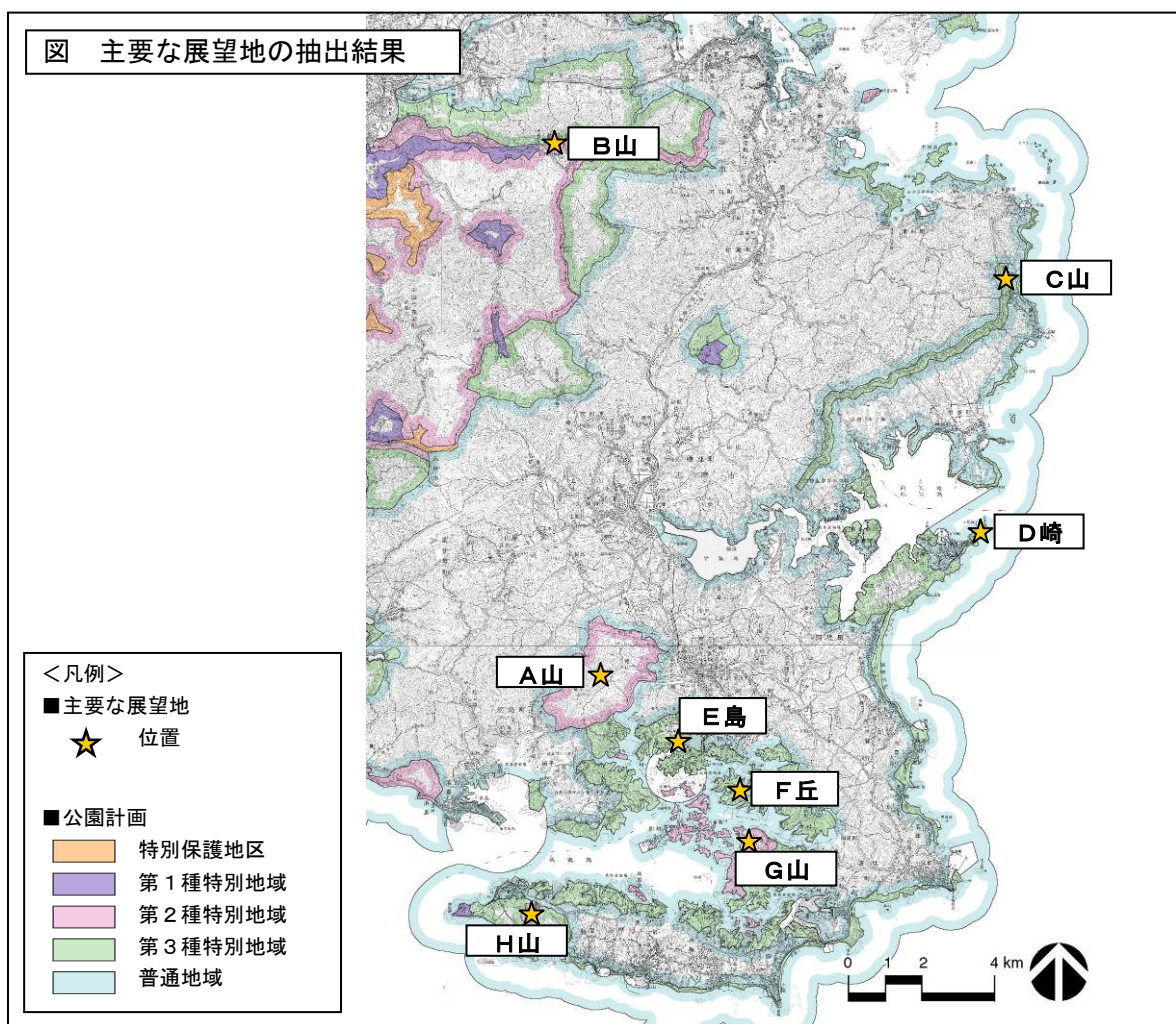


表 主要な展望地リスト

番号	名称	距離(m)	公園計画 利用施設	抽出の観点		
				公園計画書*1	管理計画書*2	その他展望利用
①	A山	2,423	集団施設地区	○	○	—
②	E島	5,226	単独施設(園地)	—	—	夕日百選
③	F丘	6,739	単独施設(園地)	○	—	夕日百選
④	G山	8,454	集団施設地区	○	○	—
⑤	H山	8,909	単独施設(園地)	○	○	—
⑥	D崎	11,311	単独施設(園地)	○	○	—
⑦	B山	12,087	単独施設(園地)	○	○	—
⑧	C山	14,534	単独施設(園地)	○	○	—

*1: 公園計画書において、「眺望利用」「風景観賞」がうたわれているものに○

*2: 管理計画書において、「主要な展望地」として保全方針が記載されているものに○

(2) 主要な展望地からの風力発電施設の視認可能性の確認

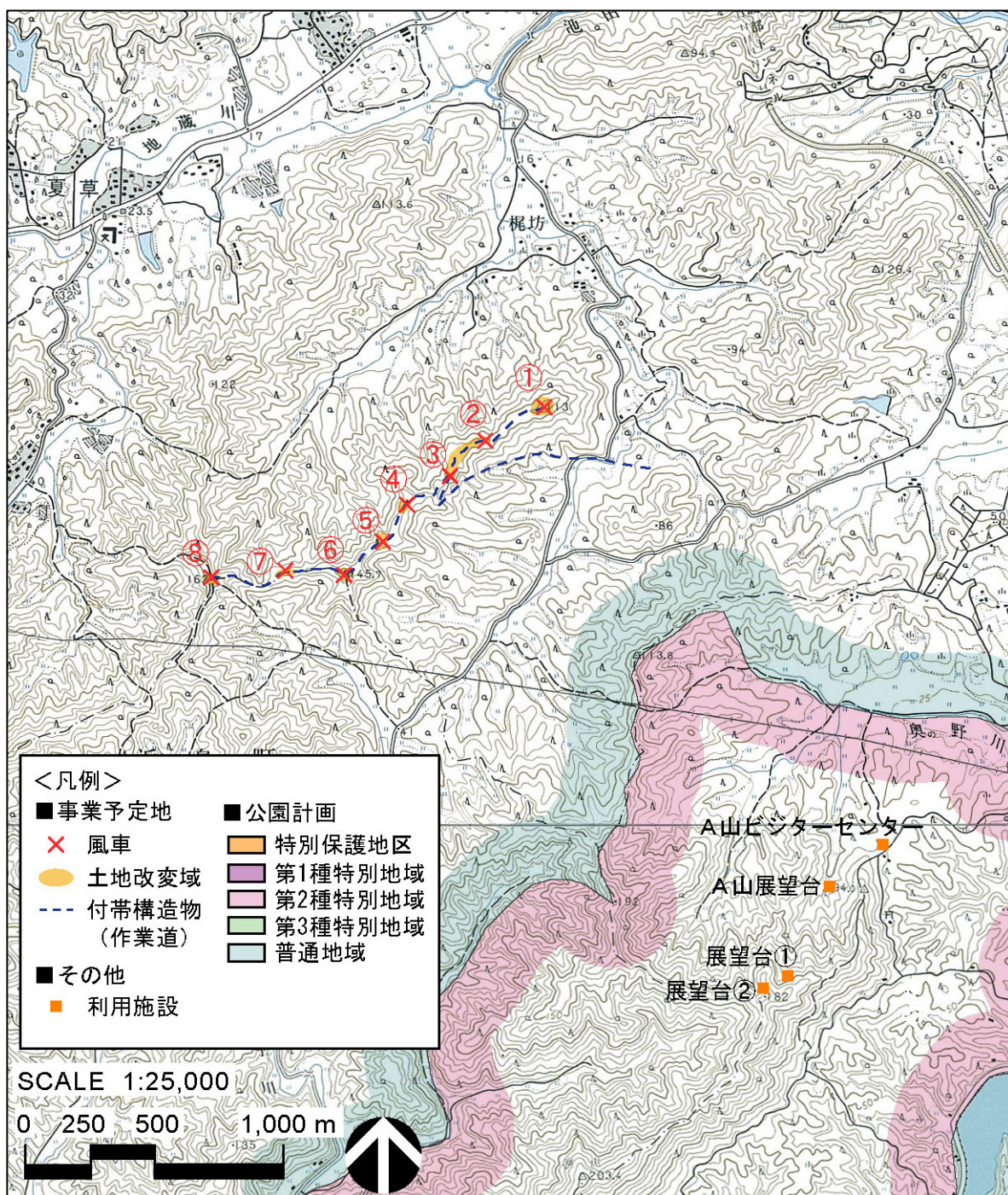
解 説

- ・第1段階で決定した位置を踏まえ、風車の規模・基数・配置を設定し、下記のとおり概略事業計画(案)を立案した。

《ケース①》

■概略事業計画

発電出力	2,000kw	ハブ高	80m	ロータ径	80m	ロータ天端高	120m	基数	8基
------	---------	-----	-----	------	-----	--------	------	----	----



作業解説

- ・ケース①の概略事業計画(案)について、現地調査にて撮影した現況写真や地図等を用いて、主要な展望地からの視認可能性を確認した。
- ・結果、風力発電施設は、「A山」から視認される可能性があることが確認された。

作業結果

表 主要な展望地からの視認可能性の確認結果(1/2)

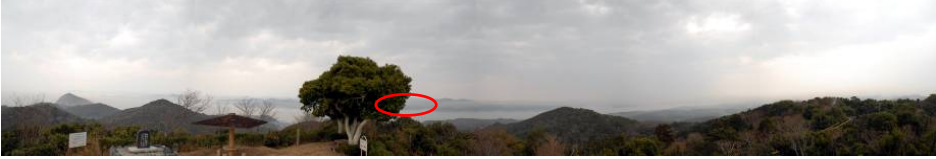
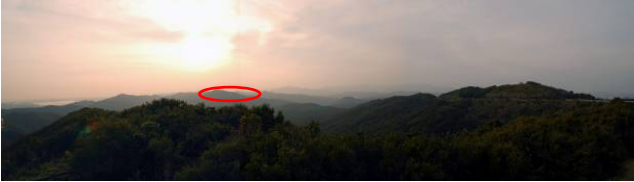
主要な展望地	現況写真	確認結果		視認可能性 風力発電施設の
		①眺望範囲への介在	②地形等による遮蔽	
① A山	 事業地からの距離：2,423m 垂直見込み角：2.8° 赤点線の稜線上に出現し、B山への主眺望方向□、眺望構成要素であるB山からのスカイラインに介在する	介在する	遮蔽されない	あり
② E島	 事業地からの距離：5,226m 垂直見込み角：1.3° ○の山稜により遮蔽される	介在する	遮蔽される	なし
③ F丘	 事業地からの距離：6,739m 垂直見込み角：1.0° ○の山稜により遮蔽される	介在する	遮蔽される	なし
④ G山	 事業地からの距離：8,454m 垂直見込み角：0.81° ○の山稜により遮蔽される	介在する	遮蔽される	なし
⑤ H山	 事業地からの距離：8,909m 垂直見込み角：0.77° ○の山稜・樹木により遮蔽される	介在する	遮蔽される	なし

表 主要な展望地からの視認可能性の確認結果 (2/2)

主要な展望地	現況写真	確認結果		風力発電施設の視認可能性
		①眺望範囲への介在	②地形等による遮蔽	
⑥ D 崎	 事業地からの距離：11,311m 垂直見込み角：0.61° ○の樹木により遮蔽される	介在する	遮蔽される	なし
⑦ B 山	 事業地からの距離：12,087m 垂直見込み角：0.57° ○の山稜により遮蔽される	介在する	遮蔽される	なし
⑧ C 山	 事業地からの距離：14,534m 垂直見込み角：0.47° ○の山稜により遮蔽される	介在する	遮蔽される	なし

(3) 視認可能性がある展望地の眺望特性の把握

作業解説

- ・視認可能性があると考えられた「A山」について、現地調査及び資料調査を行い、風車が出現する北側方向を中心に眺望特性を把握した。

作業結果

- ・把握した「A山」における眺望特性を、次のように取りまとめた。